

(株)ハイディワイナリー 環境行動計画

取組方針

株式会社ハイディワイナリーは、能登半島の膨大な資源を活かし、将来のこの地に生きる人々の財産となるべく、この地に根付く6次産業として尽力しております。

当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指していきます。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動中での省エネルギーと省資源（紙使用量の節減・節水）
- ② 製造部門、事務部門における廃棄物の削減
- ③ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

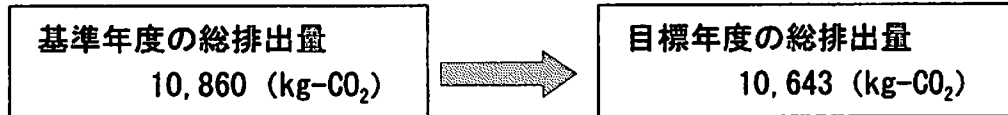
平成25年11月11日

株式会社 ハイディワイナリー
代表取締役 高作 正樹

3. 環境負荷の低減目標

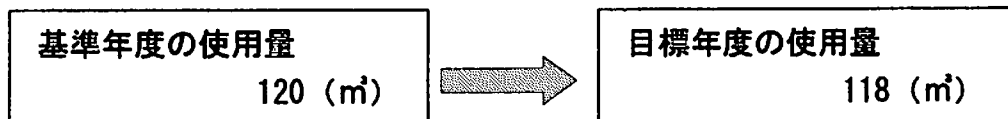
27年度に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。（数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも25年度です。）

【目標1】二酸化炭素の総排出量を2%削減する。



【目標2】廃棄物の適正管理を行い、廃棄物の削減とリサイクルの推進に努める。

【目標2】水紙使用量を2%削減する。



4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組1】二酸化炭素総排出量の削減

（事務所での取組）

- ① 昼休みの消灯、人のいない場所の消灯を徹底する。
- ② 温度計を設置し、空調機の設定温度を管理する。
- ③ 使用していない電気器具の主電源を切り、待機電力を削減する。
- ④ 休日前には、パソコンのコンセントを抜いておく。
- ⑤ 太陽光パネルを屋根に設置し、自然エネルギーの活用と室内温度の削減に努める。

（車両での取組）

- ① アイドリングストップを徹底する。
- ② 車両の点検を定期的に行う。
- ③ 車で移動する際は、乗り合わせを徹底する。
- ④ エコドライブに取り組む。（ふんわりアクセル等）
- ⑤ エコカー（低燃費・低公害車）の購入を推進する。
- ⑥ 給油時タイヤの空気圧をチェックし燃費の向上に努める。
- ⑦ 現場に行く際の必要機材、持ち物の確認を徹底する。

【取組2】廃棄物排出量の削減

- ① 廃棄物は決められたごみ箱に分別して出す。

- ② ファイル、フォルダーなどは繰り返し使用する。
- ③ 再使用、リサイクルしやすい製品を優先的に購入する。
- ④ 紙のリサイクルに努める。
- ⑤ 製品をできるだけ長期間使用する。
- ⑥ 製造過程で排出される廃棄物を堆肥化する。

【取組3】水の使用量の削減

- ① 水道管からの漏水を定期的に点検する。
- ② 効率的な水の利用に取り組む。
- ③ 節水に努める。
- ④ 洗車するときは、水を流しっぱなしにしないようにする。

5. 環境行動計画の実施体制

社長を委員長とする環境活動委員会を設け、半年ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。